

東洋学園大学・江澤雄一理事長



規模は大きくないものの、手作りの教育を実践している



都心にある本郷キャンパス

大学シリーズ 大学の挑戦 第46回



江澤雄一 (えざわ・ゆういち)
1962年東京大学法学部卒業後、同年大蔵省(現財務省)入省。91年国際金融局長。UBS銀行グループ日本代表などを歴任し2003年から学校法人東洋学園理事長。ハーバード大学行政学修士。

級学年になると、ゼミや会社説明会などを通じて、より具体的な就職活動のアドバイスを行っています。学生がいつでも相談できる窓口としてキャリアセンターを開設、職員が担当の学生を持つて、きめ細かい対応ができるようにしています。

リベラルアーツ教育で国際ビジネスマンを育てる

—— グローバル人材の育成が求められていますね。

江澤 今、日本企業はグローバルに活躍できる人材を求めており、大学はそれに応えなければなりません。本学は、短大時代から英語教育に力を入れてきました。今も、英語教育に関しては学部を横断する英語教育開発センターを設けて、全学部の英語教育を一元管理しています。留学も短期の語学研修はもちろん、半年から1年の長期留学も奨励、海外の大学で取得した単位を認める認定留学制度もあります。

さらに英語に興味がある学生には「英語特別選抜クラス(A L P S)」があります。これは学内で選抜された学生を対象にして、2年次からネイティブの教師が教える特別英語クラスです。

また今年度から「国際キャリアプログラム(ICP)」という制度が発足しましたが、こちらは一定以上の英語能力を持った

学生を入学させて、ほとんどの科目を英語で受講させるプログラムです。

在籍中に英語圏の大学に1年間の学部留学を義務付け、本学と留学先の授業料の差額を奨学金として支給します。卒業後は、国際ビジネスに携わるか、英語圏のビジネススクール、大学院に進んで、修士号、あるいはMBAを取得させることを目標としています。

—— 産学連携、地域貢献にも積極的に取り組んでおられると聞いています。

江澤 理系の大学ではないので産学での共同研究といったものはやりにくいのですが、現代経営学部では、活きた経営を学ぶという視点で現役の経営者を講師としてお招きしたり、交流会を開催したりしています。最近ではトヨタの張富士夫名誉会長、

資生堂の前田新造会長、キッコーマンの茂木友三郎名誉会長などに参加していただいています。また、地域貢献では、流山キャンパスで週末に公開教養講座を開催、地元では非常に評判が良い講座になっています。

—— 最後に、今後の目標をお聞かせください。

江澤 最大のポイントは、英語教育を軸として国際人を育てていくことです。そのためには英語教育だけではなく、国際教養が求められます。また、自分の考えをきちんと表現していく表現力も必要です。そういったリベラルアーツ教育を軸として、本学に国際社会で通用するビジネスマンを育てていくことが目標です。そこで今年度から始めた「国際キャリアプログラム(ICP)」が成功するように強い期待を持っています。

「英語教育の充実と幅広い教養を身に付けた国際人を育成します」

大正時代、女子の歯科医師養成専門学校として建学した東洋学園大学。現在はグローバル・コミュニケーション学部、現代経営学部、人間科学部の3学部体制で、リベラルアーツ教育を中心に国際人の育成を目指している。今後の方針を聞いた。

自立を促していくために 少人数で手作りの教育を

—— まず、御校の特長をお聞かせください。

江澤 本学は1926年に女子専門の歯科医師専門学校として設立されました。女性歯科医師を約3千人、世に送り出しています。ところが、戦災で教育施設が全焼したため、50年に東洋女子短期大学として再出発。女子の自立を目標に掲げ、英語教育に力を入れてきました。92年に男女共学化して総合大学が発足。英語教育と教養教育に力を入れ

ています。

—— 現在の教育の方針は。

江澤 グローバル化が進み、変化の激しい時代に自立してたくましく生きていくためには、これまで経験したことのない新しい場面に出合っても、自分で考え、判断し、行動できる人間力を養っていくことが大切です。本学では学部共通のリベラルアーツ教育により、人間と社会、そして世界を理解するための多様な科目を用意しています。

このような考えの下、本学が現在掲げている教育の柱は、「時代の変化に応える大学」「国際人

を育てる大学」そして「面倒見が良い大学」の3つです。規模は小さな大学ですが、手作りの教育を実践しています。

—— 就職の状況はいかがですか。

江澤 景気好転の影響もあって、最新の就職状況は、就職率にして9割を超えています。就職希望者はほぼ、就職できていることになりました。

就職支援としては、1年次から教養教育の一環としてキャリア教育を行っています。まず「自分の進路について自分で考える」ところから始めています。上